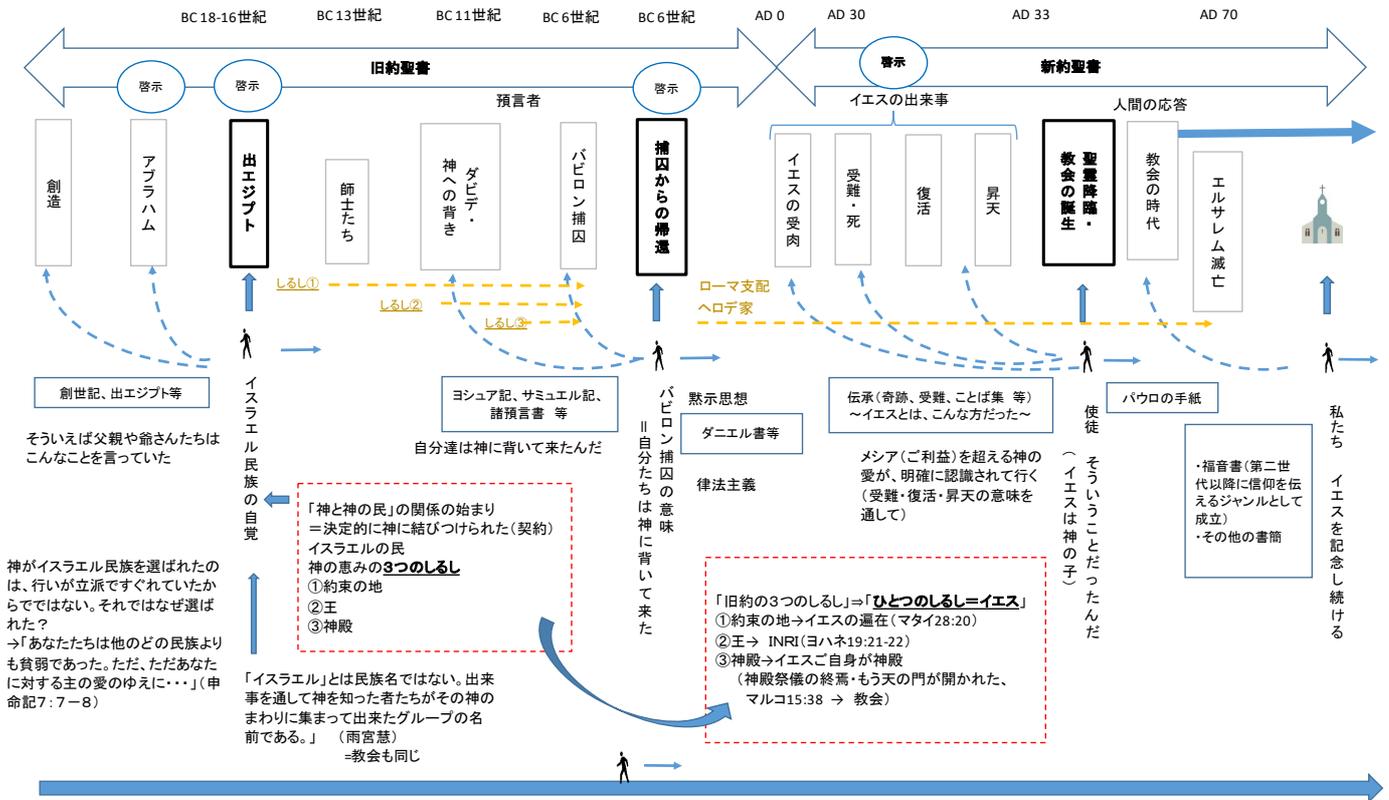


聖書の成り立ちのイメージ(イエスは書物を書かなかった)

～神は出来事をもって語りかける(自己啓示)、それに応答する人間による信仰の書～



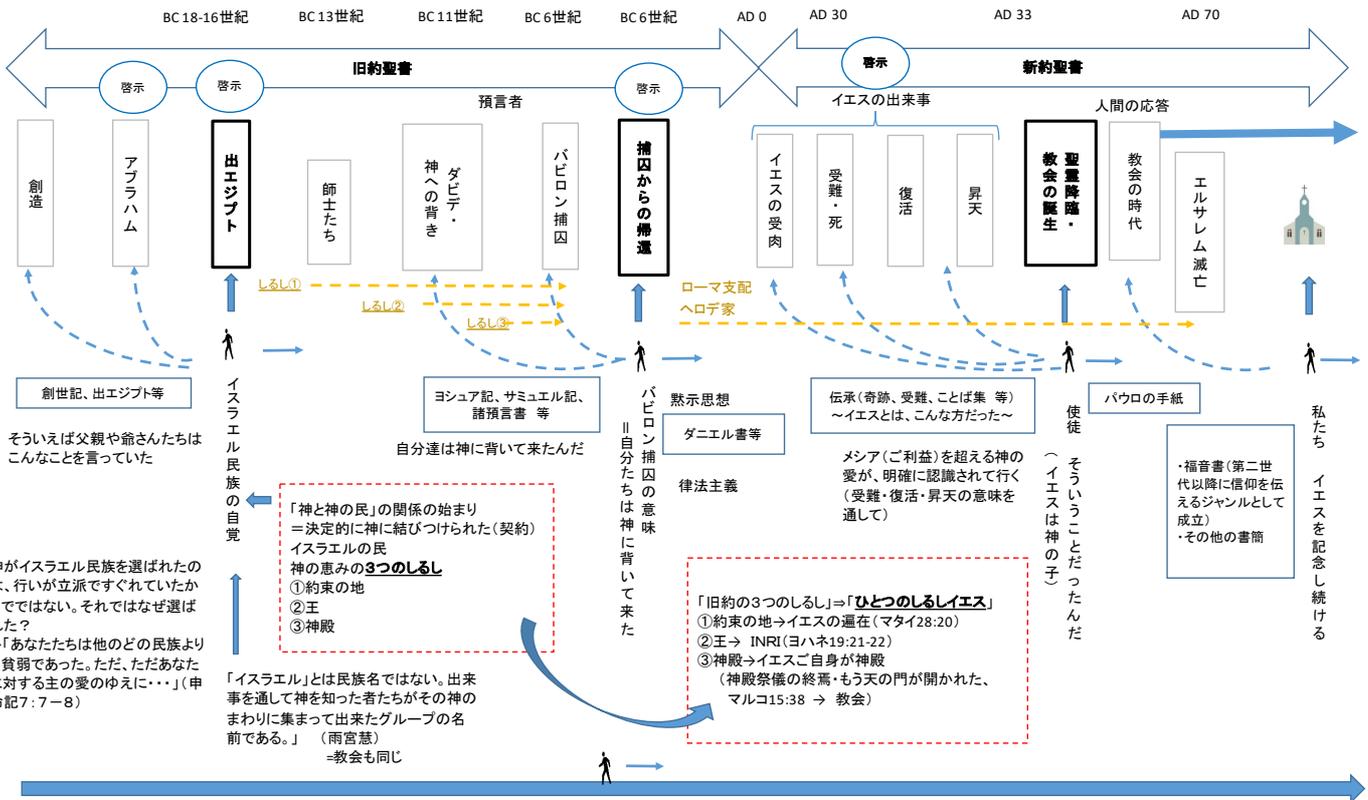
ヘブライ人は未来に背を向け過去を見つめている(過去は振り返るものではなく、目の前に広がり、未来を背中側の側に置いている)

～目の前に過去は展開しており、過去の中に人をいのちへと導こうとする神の愛を見ている。未来は待ち受けるべきものであって、人が探るべきものではない。そうであるのに未来を安心して待ち受けられるのは、過去を導いた方の愛を信じるからだ～ (雨宮慧)

「一般には、時間は過去から現在、そして未来へと流れていると思われていますが、本当にそうでしょうか。逆のような気もします。すなわち、現在という瞬間は過去の方へと流れて行き、いつでも、未来から次の瞬間が与えられている、とも考えられるのです。」 (ペトロ・ネメシエギ)

聖書の成り立ちのイメージ (イエスは書物を書かなかった)

～神は出来事をもって語りかける(自己啓示)、それに応答する人間による信仰の書～



ヘブライ人は未来に背を向け過去を見つめている(過去は振り返るものではなく、目の前に広がり、未来を背中側に置いている)

～目の前に過去は展開しており、過去の中に人をいのちへと導こうとする神の愛を見ている。未来は待ち受けるべきものであって、人が探るべきものではない。そうであるのに未来を安心して待ち受けられるのは、過去を導いた方の愛を信じるからだ～ (雨宮慧)

「一般には、時間は過去から現在、そして未来へと流れていると思われていますが、本当にそうでしょうか。逆のような気もします。すなわち、現在という瞬間は過去の方へと流れて行き、いつでも、未来から次の瞬間が与えられている、とも考えられるのです。」 (バトロ・ネメジギ)

「聖書は近代的な意味での歴史書とは異なるジャンルです。歴史書が出来事の内容で客観的な叙述で真理をつかまようとするのに対し、聖書は復活体験によって知り得た真理の方から出来事を振り返ります。つまり、後になって悟った真理をそれ以前の出来事のうちに確認しながら、その出来事を書いているのです。」 (雨宮慧)